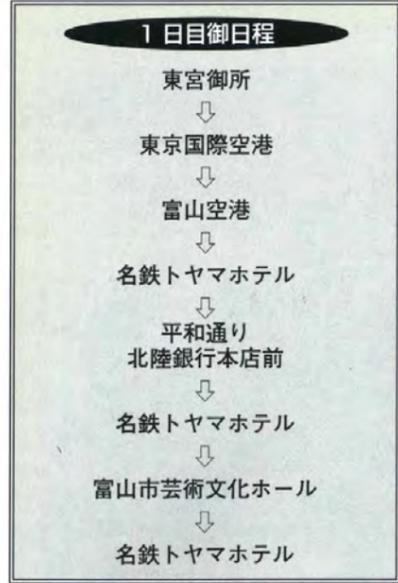


特集 《ようこそ富山県へ》 皇太子同妃両殿下ご来県



▲オープニングパレード観覧席にご到着



▲創作舞踊を演じる子どもたちに拍手を送られました。



▲「やっぱりおわらいいですね」とご感想を述べられました。

▲オープニングフェスティバルで
お言葉を述べられる皇太子殿下



▲富山市芸術文化ホールにご到着



▲艶やかな日本舞踊などをご鑑賞になりました。

皇太子同妃両殿下は、「第11回国民文化祭とやま96」にご臨場、併せて地方事情ご視察のため、九月二十八日(土)から九月三十日(月)までの三日間の日程でご来県されました。

二十八日午前、富山空港へご到着になった両殿下は、午後から平和通りでのオープニングパレードをご覧になった後、富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール)で行われた開会式にご臨席になりました。式では、皇太子殿下から「県内各地で開催される催しにおいて、国の内外からの参加者相互に、そして参加者と地元の方々の皆さんとの間に交流の輪が広がり、メインテーマにふさわしい大絵巻が描かれることを願います」とお言葉が述べられました。続いて両殿下は、同ホールで華やかに繰り広げられたオープニングフェスティバルをご覧になりました。

二十九日は、まず大島町絵本館をご訪問になり、創作しつけ絵本コンクールへの出展作品やジャンボしつけ絵本の制作風景などをご覧になりました。また、子どもたちが両殿下にコンピュータ・グラフィックスでつくった両殿下の似顔絵入りカレンダーをプレゼントするという微笑ましい一幕もありました。午後からは、福野文化創造センター(ヘリオス)でヤングミュージックフェスティバルをご覧になり、地元のスキャキ・ステイール・オーケストラの躍動感あふれる演奏などをお楽しみになりました。

三十日は、まず特別養護老人ホーム「富山市立慈光園」および児童養護施設「富山市立愛育園」をご視察。両殿下は、機能訓練やクラブ活動に励むお年寄りたちに優しくお声をかけられたほか、お年寄り子どもたちの交流の輪に加われ、あたりは和やかな雰囲気になりました。また、午後から訪問された新川文化ホールでは、富山ろう者劇団「おんによる座」の手話劇をご観賞。同ホールをお発ちになる前に、劇を終えた団員たちに「練習は大変でしょうが、これからも頑張ってください」と、励ましの言葉をかけられました。

ご滞在中の三日間、各ご視察先での県民の熱烈な歓迎に、終始笑顔で手を振っておこたえになっていた両殿下は、清々しい余韻を残され、中沖知事らが見送るなか空路富山を後にされました。

2日目御日程

名鉄トヤマホテル
↓
大島町絵本館
↓
ニチマ倶楽部
↓
福野文化創造センター
↓
名鉄トヤマホテル



福野文化創造センターにご到着



県民の熱烈な歓迎に手を振っておこたえになる両殿下



ヤングミュージックフェスティバルをご覧



スキャキ・スタイル・オーケストラのメンバーからスティールドラムについての説明を受けられる両殿下



ジャンボしけ絵本の制作風景をご覧



大島町絵本館にご到着



絵本づくりワークショップをご覧



絵本づくりをする子どもたちに、優しくお声をかけられる両殿下

3日目御日程

名鉄トヤマホテル
↓
慈光園・愛育園
↓
東京第一ホテル魚津
↓
新川文化ホール
↓
富山空港
↓
東京国際空港
↓
東宮御所



◀ 新川文化ホールにご到着



◀ 富山国際演劇祭をご覧



◆ 富山を後にされる両殿下



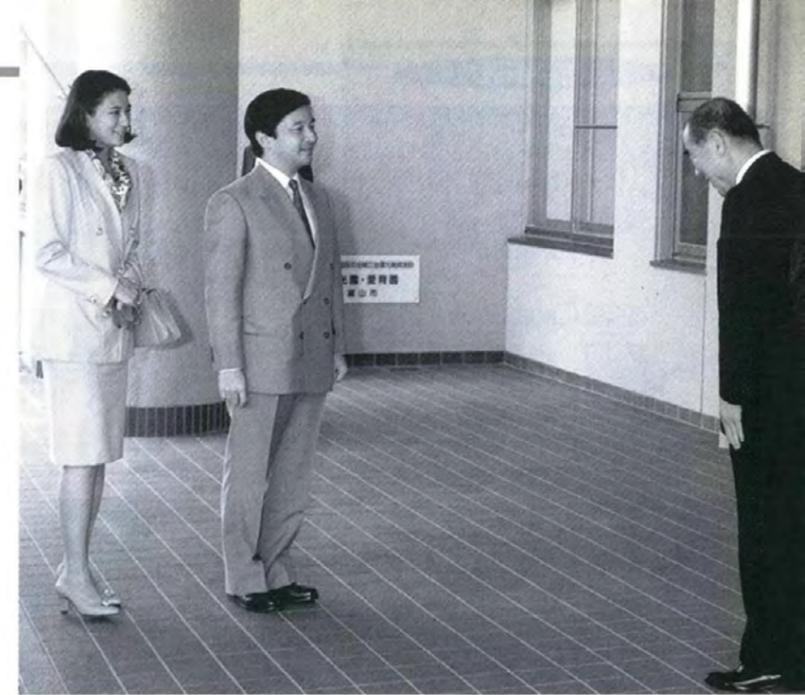
▲ ろう者劇団「おんによる座」の団員に労いの言葉をかけられました。



▲ 「いつまでもお元気で」の横断幕を掲げる園児たち



▲ お年寄りのクラブ活動状況をご覧



▲ 慈光園・愛育園にご到着



◆ お年寄り子どもたちの交流の輪に、にこやかに加わられた両殿下▲



県内一円に繰り広げられたマンダラ大絵巻

第11回 国民文化祭とやま'96

「いのちとくらし-とやまマンダラ大絵巻」をテーマに、9月28日(土)から10月7日(月)までの10日間にわたって、第11回国民文化祭とやま'96が開催され、県内一円に様々な分野の事業が繰り広げられました。

期間中は、富山湾上フェスティバルや立山フェスティバル、となみ野お祭り一揆など、富山らしさを発揮した多彩なイベントを展開。出演団体は、国内から870団体、海外からは過去最高の27か国39団体、出演者数は総勢2万5千人を数えました。また、観客数は約74万人に上り、訪れた人々は自然に恵まれた富山で文化の秋を満喫しました。

若い感性が、ストリートファッションに花開く(創作ファッションショー クロスランドおやべ)



国内外の子どもの夢あふれる舞台(国際子ども演劇祭 宇奈月国際会館)



砺波野に県内外の太鼓がこだまする(となみ野音楽絵巻「大地の鼓動」イオックス・アローザスキー場)



▲富山県洋舞協会による「雪の舞、時の舞」より(オープニングフェスティバル オーバード・ホール)



▲現代によみがえった「布橋灌頂会」(立山フェスティバル)
▼若々しいアンサンブルが響き渡る(閉会式ランドフィナーレ)



▲ダイナミックな演奏を繰り広げたスキヤキ・スティール・オーケストラ(ヤングミュージックフェスティバル 福野町ヘリオス)

▼国民文化祭旗は、次期開催県の香川県へ(閉会式ランドフィナーレ)



▲郷土色と国際色に彩られたパレード(オープニングパレード 富山市平和通り)



▲マストにはためくセールデザイン優秀作品(富山湾上フェスティバル)



滑川・立山・新湊の各会場を3元衛星中継で結んで展開したシンポジウム「自然との共生」(写真は滑川市民会館)



▲名水の里・黒部で各茶道流派が一堂に(名水茶会 宮野運動公園)